

中学音楽・器楽

内容解説資料



先生と教育出版で創る 「未来への窓」

私たち教育出版は、子どもたちが、「考えることは楽しい」「考えたことで成長した」「もっと学びたい」と思えるような教科書づくりを大切にしています。これから先の予測困難な未来を生き抜くためには、主体的に考える力がいっそう求められます。

自ら考え、自ら学ぶことで喜びを感じる子どもたちと先生方が、ともに学んでいく「新しい学び」を、教育出版は支え続けます。

「未来への窓」の向こうにある子どもたちの可能性を、私たちと一緒に広げていきませんか。



上のフレームは“先生”、下のフレームは“教育出版”を表しています。先生と教育出版で、この窓の向こうに広がる新しい世界を子どもたちに見せてあげたい。「未来への窓」には、そのような思いを込めています。

FLY!

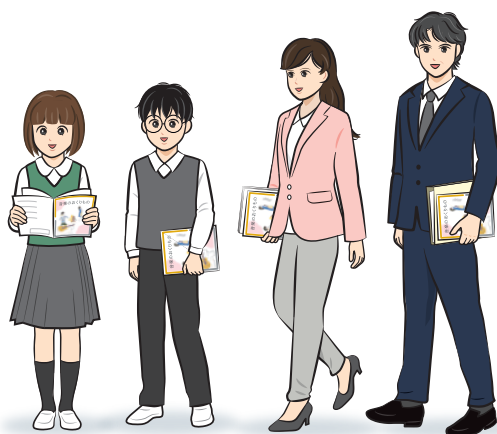
楽しい
FUN

学び
LEARNING

エール
YELL

新しい教科書

「音楽のおくりもの」は
楽しい**学**びに**エール**を送ります！



新しい教科書「音楽のおくりもの」に
登場する先生と生徒たち

FLY!

心を豊かに満たす音楽
響きはつながり、羽ばたいてゆく

令和7年度版 新しい教科書 「音楽のおくりもの」は、

教育基本法及び学校教育法の内容や、今日のさまざまな教育課題に対応するため、

「音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習を設定する」

「学習の見通しがもて、学びを深める」

「先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支える」

これら三つの観点を趣旨として作成されました。



音楽はメッセージ



©A. Kondo

音楽のおくりもの 監修者
作曲家
桐朋学園大学院大学
名誉教授
新実徳英

A stylized black ink signature of the author, A. Kondo.

..... 音楽でつながる!

感じる力・知る力が飛躍する、それが中学時代ですね。この時期にこそより良いものと出会いたい、つながりたい。

歌うこと・弾くこと・聴くこと・つくること・考えること、それらを通して感性・知性が広がり、深まっていきます。それを後押ししてくださるのが現場の先生方。私たちの教科書『音楽のおくりもの』はそんな先生方の手がかりになりたいと願っています。教室が一つのつながりに、一つの小宇宙になるのを夢見ています。

INDEX

先生と教育出版で創る「未来への窓」	p.2
「音楽のおくりもの」は楽しい学びにエールを送ります！	p.3

中学音楽

FUN 楽しい	音楽を愛好する心情を育み、 豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。	p.6
LEARNING 学び	学習の見通しがもて、学びを深めます。	p.10
YELL エール	先生方と生徒の一人一人に寄り添って、 ご授業を支えます。	p.16

中学器楽

FUN 楽しい	音楽を愛好する心情を育み、 豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。	p.20
LEARNING 学び	学習の見通しがもて、学びを深めます。	p.22
YELL エール	先生方と生徒の一人一人に寄り添って、 ご授業を支えます。	p.24

中学音楽・中学器楽

！ 発見	ICTを活用した個別最適な学習への配慮	p.26
-------------	---------------------	------

.....

教師用指導書	p.28
デジタル教材・デジタル教科書のご紹介	p.29
他教科横断教材	p.30
SDGs（持続可能な開発目標）／ユニバーサルデザイン	p.31

教科書巻頭はイメージや感情の羽ばたきを促し、
音楽的な見方・考え方を働かせた学習への入り口です。



私自身の一番の原動力は好奇心です。

ピアニスト 角野隼斗

研究者とは

私は数学が好きだったので大学は工学部に進み、音源分離という研究をしました。音源分離についてわかりやすいと「いろいろな楽器の音が混ざって聴こえている中から、ピアノの音だけを抜き出す」といったようなことです。

研究とは「今まで人類が積み上げてきたものは何か」ということと、「それに加えて自分が何をプラスできるのか」ということを必死に探る作業ではないかと思っています。「まだ誰もやっていないことを発見した!」と思っても、他の研究者が既にやっていた、そんなことはしょっちゅうあります。

ピアニストとして

ピアノは3歳から弾いていて、中学生の頃はロックやジャズにも出会い、友達とバンドを組んで演奏をしていました。私は大学院を卒業するときに、仕事として研究ではなく音楽を選びました。どちらも楽しかったのですが「自分だからこそできることは何か」という大事なことをつきつめたとき、私はクラシックピアノを主軸に、作曲、編曲、即興演奏もずっとやってきて、そういうユニークなところを、少しずつ皆さんに評価してもらえたようになりました。そして、そのときに受けたピアノのコンクールで優勝できたことも大きな弾みとなって「今はもっと自分の音楽力を磨いたほうがいい」と考えたからです。

中学生の皆さんへ

「今どんな新しいことができるのだろう」と考えるのは、音楽や研究だけでなく、何に対しても楽しいことだと思います。私自身の一番の原動力は好奇心です。皆さんも、今、世の中にあるたくさんのものを吸収して、いろいろなことに興味をもって、「知る」ということを楽しんでください。



With My Heart
音楽はメッセージ

角野隼斗
オーケストラとの共演やピアノ・リサイタルといった、クラシック音楽を主としたものから、ポピュラー音楽の演奏、そして作曲まで幅広いユニークな活動を展開している。また、Cateen（かていん）という名前でピアノ演奏の動画配信も積極的にやっている。

1年

ユニークな活動を展開するピアニスト
角野隼斗さんからメッセージ、
「中学生の皆さんへ」。



音に対する感受性が膨らむと「想像力の羽ばたき」が始まります。

指揮者 大野和士

最初の夢

幼稚園を卒園するとき「みんな大きくなったら何になりたい?」という先生の問いに、私は「指揮者!」と答えました。その頃、父がレコードで聴かせてくれたベートーヴェンの「交響曲第3番」の演奏に、音楽の内容はわからなかったけれどすごく感動し、それが「指揮者になりたい!」という気持ちにつながったのだと思います。

指揮者への道

私は小学生のときにフルートを吹いていたので、中学校では吹奏楽部に入りました。振り返ると、これがみんなと音を合わせて、アンサンブルを考えながら演奏する世界の入り口でした。指揮者という仕事を志したのも中学生のときで、高校2年生から専門の先生について勉強を始めたんです。

最初のうちは、教科書に載っているような指揮の図形などは教えてくれなくて、かわりに「さまざまな歌曲のピアノ・パートを弾きながら、歌のパートを歌えるように」と言われました。これには、ピアノを弾く自分と旋律を歌う自分を、自分のなかで明確に分けるという意味があります。指揮者は、演奏中に体を動かして表現すること、音の演奏を客観的に聴き取ることを同時にこなさなくてはなりません。そのための重要な訓練だったんです。

音楽のチカラ

私は「音楽のチカラとは何ですか」と聞かれたら「無限の想像力を呼び覚ますこと」と答えます。作曲家が用いた和音の響きを、雲のように感じたり、ときには火山が噴火するように感じたりすることがあるかもしれません。そういったイメージが湧いてくる、それまでに味わったことがないような世界に到達できる、そんなチカラが音楽にはあると思います。

好きな音楽を聴くと、旋律と一緒に歌ってみたいと思いませんか? 歌っていると、リズムや音の振動といった要素が、耳を通して頭から体の中に入ってきます。そうすると自分の中で音に対する感受性がどんどん膨らみ、想像力が羽ばたき出すんです。音楽のすばらしさはそこにあると思います。

交響曲第3番 変奏長調 ⑥



音楽を愛好する心情を育み、 豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

「こんな音楽を聴きたい、
演奏してみたい」という
気持ちを大切に

演奏者 宮田まゆみ

最初は唱歌から

私は中学生の頃はピアノの練習に明け暮れていて、音楽大学ではピアノを専攻しました。笙を習い始めたのは大学を卒業した2年めの夏からです。お稽古の最初の6か月間は楽器を持たずに、唱歌をうただけでした。そして実際に楽器を持ち始めてから4か月ほどたったある日、笙の先生から「今度オーケストラに二人の笙奏者が加わる曲を演奏するから、私と一緒に吹きましょう」と言われたのです。突然の話で驚きましたが、お稽古で唱歌をみっちりやっていたのと、ピアノの経験で、指を動かすことと音の聴き取りに関しては得意なほうだったので、無事に演奏することができました。

伝統を未来へつなぐ

笙の楽器は、大半が中国もしくは朝鮮半島を経由して日本に伝わったものです。ですから、日本で笙楽が演奏されるようになった奈良時代や平安時代の人たちにとっては、とても異国情趣豊かな響きだったと思います。そして当時の人たちは、笙楽を楽しみながら、日本人の感性に合わせて旋律を変化させるなどしました。江戸時代の笙楽の楽譜を見てみると、更に変化しています。伝統とは、先人たちが積み重ねてきたものを受け継ぎ、そこに創意工夫を加えたものといえるのではないのでしょうか。

中学生の皆さんへ

音楽は生きています。伝統を尊重して、消化して、吸収すると、次に何かが生まれてきます。皆さんは今、どんな音楽を聴きたいですか？ どんな演奏をしてみたいですか？ 私は「自分はこんな音楽を聴きたい、演奏してみたい」という気持ちを大切にしたいと思っています。

笙とオーケストラのための「セレモニアル」（沢満 徹作曲）の演奏

宮田まゆみ

笙楽「越天楽」のような古典だけではなく、現代音楽の演奏やオーケストラとの共演、そして笙独奏による演奏会を開くなど、笙の可能性を追求し、この楽器を世界的に広めてきた演奏家。平安時代後期から、鎌倉、室町時代にかけの、古い時代の作品の復元にも取り組んでいる。

笙楽における演奏

笙楽「越天楽」▶ p.48 3

音楽はメッセージ

大野和士

1987年にトスカニーニ国際指揮者コンクールで優勝し、1990年にザグレブフィルハーモニー管弦楽団（クロアチア）の音楽監督に就任。これを皮切りにドイツ、ベルギー、フランス、スペインといった国々のオペラ劇場やオーケストラの音楽監督を務め、さまざまな作品を演奏する。2015年から東京都交響楽団の音楽監督、2018年から新国立劇場（東京都）のオペラ芸術監督に就任した他、子どものための演奏会に携わるなど、世界中の人たちに幅広く音楽を届ける活動を行っている。

オーケストラ：東京都交響楽団 3

2・3上

笙の名手 宮田まゆみさんからは
生徒の皆さんへの提言、
「**伝統を未来へつなぐ**」。

2・3下

世界的な指揮者 大野和士さんは、
音楽的な見方・考え方を働かせた
学びについて発信、「**音楽のチカラ**」。

🎥 見る 🎧 聴く 📄 記録する 教材に完全準拠したデジタルコンテンツ
まなびリンクを教科書と合わせて活用できます。

Let's Try!

指揮をしてみよう

指揮の仕方について、基本の形を身につけよう。

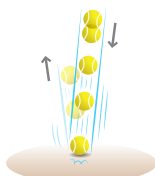
合唱で表現するときの指揮の仕方について、指揮者の相澤先生の言葉を参考にして考えてみましょう。

基本の形と演奏の始め方

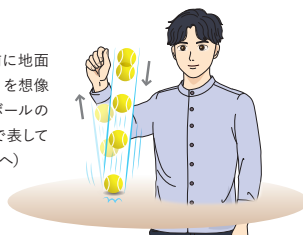
- ① テニスボールが地面を
ポンと跳ねる様子を
イメージします。



相澤先生



- ② 「おへその前に地面
がある様子」を想像
し、テニスボールの
動きを右手で表して
みます。(③へ)



- ③ 右手で表現します。

【ポイント】

ボールが落ちるときは脱力し、跳ねる瞬間だけ肘の筋肉を使う感覚で、「たたき」と呼ばれる指揮の最も基本的な動作となります。



- ④ 演奏の始め方

演奏を始めるときは、一般的に「せーのっ」の「のっ」を意識してたたくとよいです。

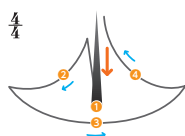


「せーのっ」と声に出しながら振ってみよう。
「せーのっ」を大きく表現すると、どのような演奏になるだろう？
逆に小さくすると、どのようになるだろう？

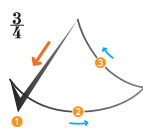
いろいろな拍子の指揮の例

▶ p.88

拍子ごとに「図形」があります。曲の速さや強弱などによって図形は変化しますが、一般的には次のとおりです。



1 拍めの落ちる方向を拍子ごとに意識します。4 拍子は真下、3 拍子は左下、2 拍子は右下になります。



25

1年 p.25



二次元コードからアクセスできる
特設サイト「まなびリンク」では、
「指揮をしてみよう」解説動画をい
つでもご視聴いただけます！



音楽のおくりもの
編集委員
指揮者・作曲家

相澤直人

「Let's Try! 指揮をしてみよう」では、紙面と解説動画の
相乗効果で、活動の仕方がよりわかりやすく、より楽しく、
そして今すぐ取り組めるようになっています。

音楽を愛好する心情を育み、
豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

表紙のイラストは教科書で出会う**歌唱教材の歌詞がモチーフ**です。

表紙フレーム“未来への窓”（本紙p.2参照）とも親和しています。



1年

「光の道」(p.10)

“今 踏み出す道は 光があふれてる”

思い思いの楽器を手にして、仲間たちが
明るい光のあふれる道を進んでいます。



2・3上

「生命が羽ばたくとき」(p.10)

“明日から 吹く風に 翼をひろげ 羽ばたこう 今”

音楽で幸せをもたらす鳥たちが、
未来に向かって羽ばたいています。

2・3下

「ぜんぶ」(p.26)

“あたりまえの気持ちは あたりまえのものとして
そのまま 今ここにある”

人や動物、鳥たちが、さまざまな時代の、
さまざまなジャンルの楽器で、奏でています。



LEARNING

比べてみよう



比べて学習を深める教材を設定しました。

Active!

主体的・対話
の実現を目指

**「サウンド・オブ・ミュージック」から
DO-RE-MI (ドレミの歌)**

●それぞれの曲の特徴を生かした表現を工夫しよう。
●二つの曲の曲想の違いを理解して歌おう。

曲の特徴を生かして歌おう。

1年 p.14-15

エーデルワイス

曲の特徴を生かして表現の工夫をしよう

それぞれ曲の、速度、拍子、テクニカル(音の重なり方)などについて調べ、比べてみよう。調べた内容について交流し説明してみよう。

	DO-RE-MI (ドレミの歌)	エーデルワイス
速度		
拍子		
テクニカル (音の重なり方)		
その他 気づいたこと		

曲の特徴を生かして表現の仕方について考えてみよう
それぞれの曲の①～④の部分ごとに、曲の特徴を生かした表現の仕方について考えてみよう。それをもとに交流してみよう。

	DO-RE-MI (ドレミの歌)	エーデルワイス
①		
②		
③		
④		

1年 p.16

1年 p.14-15

「DO-RE-MI」と「エーデルワイス」は、それぞれの曲の特徴を生かした表現を工夫し、曲想の違いを理解して歌います。歌詞は英語と日本語を併記しています。

1年 p.16

- ① それぞれの曲の特徴を、音楽を調べて比べます。調べた内容は
- ② ①をもとに表現の仕方を考え、

音楽文化と豊かに関わりながら学習を深める教材を設定しました。

**日本とアジアの声による
さまざまな表現**

●音楽の特徴や役割を捉え、多様性を考えながら鑑賞しよう。
●声の出し方や歌い合わせなどの特徴を鑑賞しよう。

わが国やアジアの地域には、人々のくらしと結びつきながら、さまざまな声で表現する音楽があります。声の音色(おんしやく)や出し方、合わせ方などの特徴を鑑賞してみよう。

天台声明

わが国には6世紀に仏教が伝わり、仏教の儀式に用いられる声明も同じ時期に伝わったと考えられています。声明とは、僧侶が経典(経典)の内容に即して表現するものです。

日本の民謡

わが国にはさまざまな民謡があります(※p.36)。「八木節」と「江東船」を比較すると、声の出し方や伴奏の仕方など、歌い方や伴奏の仕方が異なっていることがわかります。

1年 p.58-59

ケチャ (インドネシア バリ島)

ケチャは、インドに起源があるといわれている「ラーマヤナ」の物語を題材にした、舞踊劇に用いられる音楽です。ガムランという、主として金属製の鍵盤打楽器で演奏される合奏音楽を、声で表したものと合わせています。

オルティンドー (モンゴル)

モンゴルの民謡には自然や家畜をたたえるものが多くあります。オルティンドーには「良い歌」という意味があり、息を長く引きのびながら歌います。伴奏にモンゴルホルン(馬頭琴)という楽器(弓弦楽器)を用いることがあります。

ホーミー

モンゴルにはホーミーという、大きな特徴のある発声を用いた歌唱があります。

布農(ブヌン)族の合唱 (台湾)

台湾の先住民、布農族による合唱は、穀物などの種まきの際、農作業を助ける男性が声を合わせて歌います。音の重なり方に特徴があります。

1年 p.58-59

わが国とアジア地域の多様な豊かな声による表現を鑑賞し、

- 〈聴き取ったこと〉
 - 〈感じ取ったこと〉
 - 〈調べたこと・わかったこと〉
- を整理して比較します。

音楽科の学習をバランスよく支えて見通せる**学習MAP**があります。

各学年▶p.8-9

中学音楽1 学習MAP

歌唱

思いをこめて 楽しく歌おう

歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫します。

光の道
p.10

曲の特徴 を生かして歌おう

それぞれの曲の特徴を比べながら表現を工夫します。

「サウンド・オブ・ミュージック」から
DO-RE-MI エーデル
p.14 p.15

曲の形式 を生かして歌おう

曲想を感じ取り、形式を生かした表現を工夫します。

夏の思い出 赤とんぼ
p.18 p.22

曲想の変化 を生かして歌おう

曲想の変化を感じ取って表現を工夫します。

夢の翼 ああ丘の
p.17 p.32

鑑賞

曲の形式 を捉えながら鑑賞しよう

曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞します。

「春」
第1楽章
p.44

曲想の変化 を感じ取って鑑賞しよう

曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞します。

魔王
p.48

郷土のさまざまな民謡 を味わいながら鑑賞しよう

音楽の役割を考えながら、多様な表現を鑑賞します。

郷土の
さまざまな民謡
p.36

箏曲の多様な表現 を鑑賞しよう

箏（こと）の音色（おんしよく）や表現を味わいながら鑑賞します。

箏曲
「六段の調」
p.52

創作

言葉の特徴を捉えて 旋律をつくろう

言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくります。

日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう
p.38

言葉の特徴を捉えて 音楽を構成しよう

言葉のつながり方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくります。

全体の構成を考えながら音楽をつくろう
p.40

学習の進め方 How

音楽を形づくっている要素

音色

「音楽を形づくっている要素」手がかりにして学習を進めよう

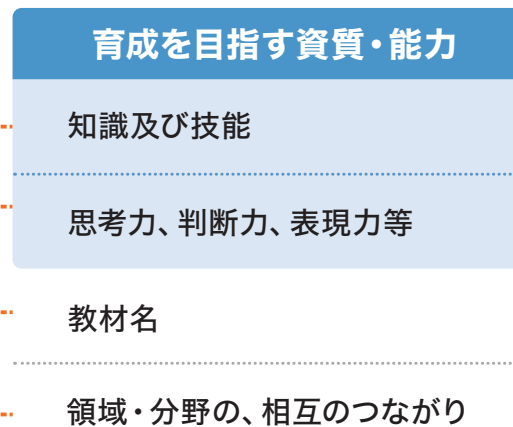
歌唱 「音楽を形づくっている要素」手がかりにして曲の特徴を調べ、表現の仕方について、交流してみよう

鑑賞 「音楽を形づくっている要素」を手がかりにして曲の特徴を調べ、感じ取ったことをまとめて、交流してみよう

創作 「音楽を形づくっている要素」を生かして旋律や音楽をつくってみよう

共通事項を軸にした**【学習の進め方】**を提示。
全学年いつでもここに戻って確認できます。

学習の見通しがもて、学びを深めます。



関係性を明示



音楽のおくりもの
編集委員
東京音楽大学教授
和田 崇

教育出版の教科書は、学習指導要領の各学年の目標や内容に対応した題材が、系統性をもって組織され、その題材を軸にして教材が配置されています。

中学校の学習MAPは、小学校6年間の[学習マップ]を受け継いで展開しています。



つながる つなげる 小学校・中学校 9年間を通した題材の系統

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む題材	はくとリズム どれみとなかよし	はくやドレミとなかよし	楽ふとドレミ	はくとせんりつ	和音や低音のはたらき	短調のひびき	思いをこめて楽しく歌おう 「光の道」 曲の特徴を生かして歌おう 「サウンド・オブ・ミュージック」から「DO-RE-MI」「エーデルワイス」
	ねいろとつよさ	強さとはやさ 音色とリズム	曲に合った歌い方	曲に合った歌い方	豊かな表現	豊かな表現	曲の形式を生かして歌おう 「夏の思い出」「赤とんぼ」 曲想の変化を生かして歌おう 「夢の翼」「あの丘の向こうから」
	うたのもりあがり	きよくに合った歌い方	ひびきのある歌声	ひびきのある歌声			パートの役割を生かして合わせて歌おう 「明日を信じて」「飛び立とう君の空へ」
	うたでまねっこ	くりかえしとかさなり	パートの役わり	パートの役わり	パートの役わり		言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう 「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」 言葉の特徴を捉えて音楽を構成しよう 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」
	おんがくのながれ	音楽のながれ	せんりつと音色	かけ合いと重なり	アンサンブルのみりよく〈合唱〉	せん律のひびき合い	曲の形式を捉えながら鑑賞しよう 「春」第1楽章 曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう 「魔王」(シューベルト) 「魔王」(ライヒャルト)
			音楽のききどころ	音楽のききどころ	音楽のききどころ	音楽のききどころ	
生活や社会と音楽との関わりを扱う題材	うたってうごいてみんなでおんがく (導入題材の内容が関連付けられている)	おまつりの音楽	日本と世界の音楽	日本と世界の音楽	日本の音楽	日本の音楽	箏曲の多様な表現を鑑賞しよう 箏曲「六段の調」 尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう 尺八曲「鹿の遠音」 民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう 「ソーラン節」「かりぼし切り歌」 郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう 「郷土のさまざまな民謡」 わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう 「日本とアジアの声によるさまざまな表現」
						世界の音楽	
主体的・対話的に学習を深める題材	みんなのおんがく	みんなの音楽	思いに合った表げん	思いに合った表げん	思いをこめた表現	思いをこめた表現	曲の特徴を生かして歌おう Active! 「DO-RE-MI」と「エーデルワイス」の曲の特徴についてまとめよう／曲の特徴を生かして表現の仕方を工夫しよう パートの役割を生かして合わせて歌おう Active! 各パートの役割を確認しよう／曲の山場の部分を確認し特徴をまとめよう 曲の形式を捉えながら鑑賞しよう Active! ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについてまとめよう 曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう Active! 各登場人物の表現の特徴をまとめよう／詩の内容や登場人物とピアノ伴奏がどのように関わっているかまとめよう

学習の見通しがもて、学びを深めます。

中学2・3上

作者の思いを歌声にのせて合唱しよう
「生命が羽ばたくとき」

曲の特徴を生かして歌おう
「You Can Fly!!」

曲の形式を生かして歌おう
「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」

パートの役割を生かして合わせて歌おう
「翼をください」

曲想を味わいながら合わせて歌おう
「そよ風の中で」「この星のどこかで」

旋律に合うリズムパターンをつくろう
「リズムパターンをつくろう」

五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう
「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」

曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう
「小ワルガ ト短調」

曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう
「交響曲第5番 ハ短調」

曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう
「ボレロ」、組曲「惑星」から「火星」

雅楽の多様な表現を鑑賞しよう
雅楽「越天楽」

能の多様な表現を鑑賞しよう
能「羽衣」、能「敦盛」

郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう
「郷土の音楽や芸能」

曲の特徴を生かして歌おう

Active! 女声パートと男声パートのテクスチュアの変化に注意して歌おう／ピアノ伴奏に注意して歌おう

曲の形式を生かして歌おう

Active! 旋律のまとまりを生かしてどのように表現を工夫するか考えてみよう

曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう

Active! 各楽章に変形されて現れるリズムの動機を聴き取り、感じ取ったことをまとめよう／気に入った楽章について、よかったところやそれを選んだ理由を発表し交流しよう

中学2・3下

曲の形式を生かして歌おう
「花」「荒城の月」

曲の特徴を捉えて、ふさわしい声で歌おう
「帰れソレントへ」「Top of the world」

曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう
「旅立ちの日に」「ぜんぶ」

言葉の特徴を捉えて表現しよう
「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」

言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう
「CMソングをつくろう」

曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう
「ブルタバ (モルダウ)」、交響詩「フィンランディア」

オペラの豊かな表現を鑑賞しよう
「アイーダ」から 第2幕 第2場

歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう
歌舞伎「勧進帳」

文楽の豊かな表現を鑑賞しよう
文楽「義経千本桜」

多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう
「世界のさまざまな芸能や音楽」

曲の形式を生かして歌おう

Active! フレーズや形式を理解して、強弱の変化やブレスの取り方を工夫しながら歌ってみよう

曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう
音楽の表現とフィンランドの独立を願ったシベリウスの思いなどについて発表し交流してみよう

オペラの豊かな表現を鑑賞しよう

自分にとって、見どころ、聴きどころだと思う場面を選び、その魅力を述べてみよう

鮮やかな写真 → まなびリンク → ワンポイント・アドバイス → 補充活動、これらが一体となって
カリキュラム・マネジメントを視野に入れ、地域や学校ごとのカリキュラムにも対応できます。

尾瀬：群馬、福島、新潟三県にまたがる
日本有数の原生地帯
石楠花色：淡紅色
浮き島：湖沼に浮かんで動く植物や泥などできた島状のもの

二夏が
はるかな
花の中
ゆれゆれ
水芭蕉の
夢みてにお
まなこつふれ
はるかな尾瀬

SAMPLE

やさしい
水芭蕉の
夢みて咲い
石楠花色に
はるかな尾瀬

SAMPLE

〓 A Message for You 〓

ふっと目に浮かんだのが水芭蕉がいっぱい咲いている風景でした。(群馬県の) 沼田から片品へ行って、片品の戸倉の入り口で水芭蕉がいっぱい咲いている風景を見たことがあったんです。それはもう戦争が終わる一年二、三か月前のできごとだと思います。とにかく果てから果てまで水芭蕉が咲いていて、何も書けなかった時にふっと浮かび上がったの、水芭蕉を書いてみよう。(江間 章子)

「唱歌のふさと うみ」から

この曲は、昭和24年、NHKのラジオ歌謡として作曲し、放送されました。

日本語は、抑揚が大切なので、言葉を生かし、正しい日本語に聞こえるように作曲しました。(中田 喜直)

作者について

作詞 江間 章子 [1913-2005]

作曲 中田 喜直 [1923-2000]

詩人。新潟県生まれ。1930年（昭和5年）、県立静岡高等女学校を卒業。深尾須磨子に詩を学ぶ。詩集「イラク紀行」などの他、「花の街」「夏の思い出」は歌曲として有名である。

作曲家。1943年（昭和18年）、東京音楽学校を卒業。卒業後、音楽家として活動。作品がある。『ちいさい秋』としても知られる。

歌唱共通教材「夏の思い出」の場合
1年 p.18～21

Let's Try! 指揮をしてみよう

指揮の仕方について、基本の形を身につけよう。

合奏で表現するときの指揮の仕方について、指揮者の稲澤直人の言葉を参考にしてみてください。

基本の形と演奏の始め方

① テニスボールが地面をポンと跳ねる様子をイメージします。

② おへその前に地面がある様子を想像し、テニスボールの動きを右手で表してみます。(●へ)

③ 演奏の始め方

演奏を始めるときは、一般的に「せーのっ」の「のっ」を意図して、小さく動かしてみます。

④ 演奏の始め方

演奏を始めるときは、一般的に「せーのっ」の「せーのっ」を大きく動かしてみます。どのような演奏になるだろうか？

いろいろな拍子の指揮の例

拍子ごとに「図形」があります。曲の速さや強弱などによって図形は変化しますが、一般的には次のとおりです。

1 拍子の落ちる方向を拍子ごとに意識します。4拍子は真下、3拍子は右下、2拍子は右下になります。



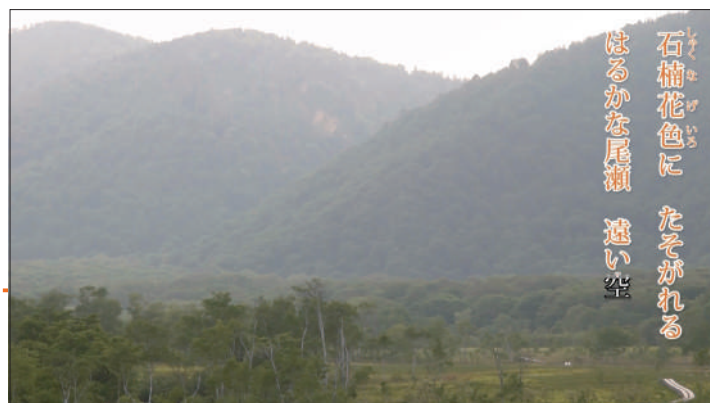
「夏の思い出」
指揮 稲澤直人

「Let's Try! 指揮をしてみよう」の動画コンテンツでは、指揮をするときの基礎的な知識・技能を「夏の思い出」を取り上げて解説しています。

(本紙「FUN」p.8参照)

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、
ご授業を支えます。

ご授業をサポート。



[まなびリンク] に
アクセスし尾瀬ヶ原
の情景と範唱を視聴
できます。

左の画像は尾瀬ヶ原が
石楠花色にたそがれた
頃合いです。



Sing! Sing! \ 言葉の発音について /

歌詞の言葉表現する際には、子音や母音の発音の仕方を意識しましょう。
「ガ行」の音は「鼻濁音」で発音する場合があります。 鼻濁音 … 濁音の子音を鼻に抜いて発音するもの。

「夏の思い出」の1番の歌詞には、「鼻濁音」になるところが五か所あります。
発音に気をつけて歌ってみよう。



「赤とんぼ」の2番の歌詞にも、「鼻濁音」になるところが一か所あります。
「鼻濁音」で発音するところに下線を引き、歌ってみよう。



24

歌うためのワンポイント・アドバイス [Sing! Sing!] で
「鼻濁音」に気づき表現に生かします。

器楽

教科書巻頭は楽器の音色や響きを生かした**音楽文化と豊かに関わる学習**への入り口

LET'S PLAY MUSIC!



世界にはいろいろな楽器があり、楽器の音色（おんしき）や響き（こ）を
基本的な演奏の仕方を身につけ、表現を工夫してみよう



2

p.2-3

この教科書で出会い、表現活動につながっていく和楽器と、その名手たちによる演奏。(左p.2)

表現活動で扱うリコーダーや打楽器と、楽器の背景にある風土や文化、歴史、伝統を考えるページの紹介。(右p.3)

音楽を愛好する心情を育み、 豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

です。

多く)や響きを生かした音楽文化があります。
う! ▶ …は関連ページを示しています。



3

表紙

この教科書で出会う、多様な管楽器、
弦楽器、打楽器を描いています。



p.4

楽器を介した“人と音楽とのつながり”そして
“人と社会とのつながり”を生み出す取り組みについて。



器楽

「表現の仕方を調べてみよう」は、

音楽的な見方・考え方を働かせた学習を推進するページです。

表現の仕方を調べてみよう PART-1

吹く楽器の音の出し方から、楽器の特徴をみていこう。



リコーダー



篠笛



尺八

音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目して、音色（おんしよく）や旋律の吹き方の特徴、自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。

聴いてみよう

- リコーダー ブランデンブルク協奏曲第4番から 第1楽章 ① J.S. バッハ 作曲
- 篠笛 長唄「越後獅子」 ② 九代 村屋六左衛門 作曲
- 尺八 尺八曲「鹿の遠音」 ③ 作曲者不詳

	リコーダー ▶ p.8	篠笛 ▶ p.22	尺八 ▶ p.28
音の出る仕組みや楽器のかまえ方			
音色や旋律の吹き方の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう それぞれの楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

30

p.30

管楽器や弦楽器といった楽器のカテゴリーごとに、表現の仕方を音楽的な見方・考え方を働かせて整理し、交流して共有するページを設定しています。



音楽のおくりもの
編集委員
リコーダー奏者
金子健治

「表現の仕方を調べてみよう」は、器楽表現や鑑賞を通じて学習した楽器の、音の出る仕組みや旋律の特徴に着目し〈話し合おう〉を活用して学びを深められる教材です。

表現の仕方を調べてみよう PART-2

弾く楽器の音の出し方から、楽器の特徴をみていこう。



ギター



箏(こと)



三味線

音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目して、音色や弾き方の特徴、自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。

聴いてみよう

- ギター アランブラ（アルハンブラ）の思い出 ① フランシスコ・タレガ 作曲
- 箏 さくら変奏曲 ② 宮城道雄 作曲
- 三味線 長唄「勧進帳」から 寄せの合方 ③ 四世 村屋六三郎 作曲

	ギター ▶ p.32	箏 ▶ p.40	三味線 ▶ p.48
音の出る仕組みや楽器のかまえ方			
音色や弾き方の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう それぞれの楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

55

p.55

学習の見通しがもて、学びを深めます。

器楽

主体的・協働的に取り組める教材を精選しました。

題材

曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら、表現を工夫しよう。

左手で吹こう②

教材名 チャイニーズ・ダンス

活動のポイント

- 曲の雰囲気を感じ取りながら演奏しよう。
- ソプラノ … 上の音符を吹く
- アルト … 下の音符を吹く

ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーは、それぞれ別々に演奏することも、一緒に合わせて演奏することもできます。

自由な速さで

金子健治 作曲

喜びの歌

左手の運指を身につけて表現しよう。

ソプラノ

♩ = 126 くらい

ベートーヴェン 作曲☆

アルト

♩ = 126 くらい

ベートーヴェン 作曲☆

12

運指図
(アルト用)

題材のまとめの曲

家路 p.12 - p.13 のまとめの曲

曲想を感じ取って合わせて演奏しよう。

ソプラノ

Moderato

ドボルザーク 作曲 金子健治 編曲

S1

S2

アルト

Moderato

ドボルザーク 作曲 金子健治 編曲

A1

A2

カノン1

三つのグループに分かれ、初めのグループが②③に来たら順番に加わります。何度も繰り返して演奏できますが、曲を終わるときは、初めのグループが合図をしてそれぞれ★で終わります。

自由な速さで

金子健治 作曲

13

オプション教材

運指図
(ソプラノ用)



[まなびリンク] の動画コンテンツで
模範演奏を視聴できます。



器楽

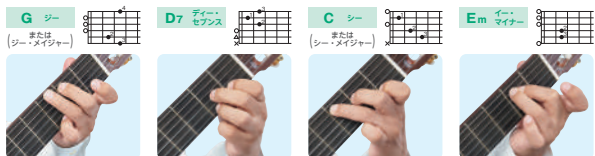
詳細な写真 → まなびリンク → 無理なく身につく演奏の仕方 → 多彩な合奏教材、これ
カリキュラム・マネジメントを視野に入れ、地域や学校ごとのカリキュラムにも対応で

曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、ストローク奏法を身につけたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。

コードを押さえよう

いくつかの音が同時に鳴ることをコード（和音）といいます。コードネームは、英語の音名（C、D、E、F、G、A、B）と数字などを組み合わせた、各コードの構成音を表す記号のことで、

×…弾かない弦 △…弾かなくてもよい弦



一つのコードに対して、いろいろな押さえ方があります。また、用いるコードのつながり方によって次のコードに移りやすい運指を用いる場合があります。

ストローク奏法

左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時に弾くことをストローク奏法といいます。一般的にクラシック・ギターでは指を、フォークギターではピックを使って弾きます。



36

p.36



ギターでは、フォーク・ギターやエレクトリック・ギターの演奏にも生かせる、コードの押さえ方とストローク奏法も学習します。正しい奏法はまなびリンクの動画で確認できます。



三味線の音色（おんしよく）と奏法との関わりを理解したり、調弦や基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう。

リラックスしたよい姿勢とかまえ方のコツ



ばちを持たないときに、左右の手のひらが向かい合うような形が理想です。



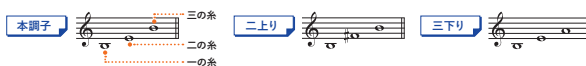
NO!
右手の肘が手首より下がってしまうのはよくありません。

ばちの持ち方は鉛筆を使って練習できます。リラックスした無理のない持ち方を確認しておきましょう。



調弦法

主な調弦法である本調子、二上り、三上りの糸を口音にする次のようになります。実音は1オクターブ下



三味線の調弦法は、基準となる音の高さが固定されていないので、他の楽器や声と合わせて演奏するときは、それらに応じた音の高さにする必要があります。本調子の場合、次のように調弦することがあります。

50

p.50



【まなびリンク】の音声コンテンツで調弦法を確認できます。

三味線は、基本的な奏法の導入で、リラックスしたよい姿勢とかまえ方について学習します。ばちの持ち方は、鉛筆を代用しても練習ができます。

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、 ご授業を支えます。

らが一体となって**ご授業をサポート**。
きます。

Let's Try! サザエさん

♪タンギングや音域に応じた音の出方に注意して、表現を工夫しよう。

108 ちい

作曲 金子健治 編曲 金子健治

76

「サザエさん」(p.76)

〈合わせて演奏しよう〉(p.64~97)は、楽しく演奏して学習が進められる、多彩な合奏曲を主にしたページです。

Let's Try! ホール・ニュー・ワールド

♪声部の役割やはたきを感じ取って表現を工夫しよう。

120 ちい

作曲 メンケン 編曲 金子健治

80

「ホール・ニュー・ワールド」(p.80)

名曲旋律集

凱旋の行進曲 (オペラ「アイダ」第2幕 第2場から)

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813~1901、イタリア) が作曲した、オペラ「アイダ」第2幕 第2場から「凱旋の行進曲」は、通常のトランペットと違って主音が長く伸びている楽器で演奏されます (原調は変イ長調)。

100 ちい

作曲 ヴェルディ 作曲

ブルタバ (モルダウ) (連作交響詩「我が祖国」から)

ペートル・メスナー (1824~1884、チェコ) が作曲した、六つの楽曲からなる連作交響詩「我が祖国」の第2曲「ブルタバ (モルダウ)」から、ブルタバの主題が提示される部分です (原調は変イ長調)。

76 ちい

作曲 スメタナ 作曲

ファイナルファンタジー メインテーマ

植松伸夫 (1959~) がコンピュータ・ゲームのための音楽家として作曲。現在では音楽家として、幅広く演奏されています。2021年7月に開催された東京オリンピックでは、開会式選手入場の際に演奏されました。

100 ちい

作曲 植松伸夫 作曲 金子健治 編曲

〈名曲旋律集〉(p.98~101)には、鑑賞教材や歌唱教材に関連した旋律と、中学生になじみのある旋律を集めました。

「凱旋の行進曲」「ブルタバ」
「ファイナルファンタジー メインテーマ」(p.100)



本教科書完全準拠のデジタルコンテンツ**まなびリンク**の活用により、主体的な学習への意欲が高まります。日々のご授業でしっかりとご使用いただけるコンテンツを精選しました。

動画



1年

- p.19 「夏の思い出」 範唱・情景
- p.22 「赤とんぼ」 範唱・情景
- p.25 「指揮をしてみよう」 基本編
- p.47 「春」 チェンバロの発音原理
- p.55 「日本とアジアをつなぐ音」
 - ・グージョン紹介 ・グージョン演奏
 - ・カヤグム紹介 ・カヤグム演奏

2・3年上

- p.16 「浜辺の歌」 範唱・情景
- p.20 「早春賦」 範唱・情景
- p.44 「ボレロ」
 - ・リズムと主題を演奏する11の楽器
(p.91 「オーケストラの楽器」から抜粋)
- p.51 唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう
 - ・唱歌による実演 ・箏篋による範奏
- p.55 能「敦盛」波の打物抜いて〜
 - ・実演
- p.58 「郷土の音楽や芸能」
 - ・鹿踊 太鼓のリズムの唱歌
 - ・鹿踊 金津流横浜獅子躍の演舞
 - ・獅子舞 神田囃子保存会の演舞
 - ・獅子舞 笛の唱歌
 - ・獅子舞 太鼓の唱歌
- p.91 **オーケストラの楽器**
 - ・弦楽器
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
 - ・木管楽器
フルート、ピッコロ、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
 - ・金管楽器
ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ
 - ・打楽器
ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル

2・3年下

- p.11 「花」 範唱・情景
- p.28 「指揮をしてみよう」 応用編
- p.42 歌舞伎「勧進帳」から長唄演奏
- p.46 長唄「勧進帳」をうたおう
 - ・「月の都を立ち出て」〜
「寄せの合方（前半）」の演奏
- p.47
 - ・□三味線 ・三味線+□三味線
 - ・唄+□三味線 ・唄+三味線+□三味線

器楽

- リコーダー範奏
 - ・p.10 「リズム de ゴー」
 - ・p.12 「チャイニーズ・ダンス」
 - ・p.16 サミングA、B
 - ・p.17 「誰も知らない私の悩み」「レヴェル・プレイン」
- 篠笛範奏
 - ・p.23 吹いてみよう
 - ・p.24 「たこたこあがれ」
 - ・p.26 「祭囃子」
- 尺八範奏
 - ・p.29 音の出し方
- ギター範奏
 - ・p.34 アポヤンド奏法、アル・アイレ奏法
 - ・p.36 **ストローク奏法（親指と人さし指、親指）**
 - ・p.37 深めてみよう「不思議な旋律 PART-2」
- 箏範奏
 - ・p.42 基本的な奏法 角爪、丸爪
 - ・p.47 深めてみよう 箏曲「六段の調」に挑戦！
- 三味線範奏
 - ・p.51 基本的な奏法
- 太鼓範奏
 - ・p.60 かまえ方と打ち方 正対がまえ
(長胴太鼓：やぐら台、伏せ台、フチ打ち)
(締太鼓：立奏台、座奏台)
- Let's Try! 音のスケッチ
 - ・p.97 「楽器と唱歌によるパッチワーク」
(構成と演奏の例1、例2)

音声



1年

p.38 「日本語の抑揚を生かした
旋律をつくろう」

- 朗読
- 範奏

p.44 「春」

- 通奏
- ソネットA、B、C、D、E

2・3年上

p.32 「リズムパターンをつくろう」

- 「い」の例
- 「ろ」の例
- 「は」の例
- 「8小節のリズムパターン」
- 「オーラ・リー」範奏

2・3年下

p.30 「言葉のリズムや抑揚を生かして
表現してみよう」

- 「基本のリズム」
- 「基本のリズム」を多く使った例
- 「ター」を多く使った例
- 「ツク」を使った例
- 「みそラーメン」の表現例
- 具材（トッピング）の表現例

p.34 「ブルタバ（モルダウ）」

- 全曲通奏
- 教科書に示した10の譜例の演奏

器楽

リコーダー

- p.20 アーティキュレーション
ノンレガート奏法、スタッカート奏法、
テヌート奏法、レガート奏法

箏

- p.41 調弦法 平調子
(一の弦を[・]ホ音) (一の弦を[・]ニ音)

三味線

- p.50 調弦法 本調子、二上り、三下り

ワークシート



1年

p.16 「サウンド・オブ・ミュージック」から

Active!

p.27 「明日を信じて」 Active!

p.39 「日本語の抑揚を生かした
旋律をつくろう」

p.47 「春」 Active!

p.49 「魔王」 Active!

2・3年上

p.23 「浜辺の歌」「早春賦」 Active!

p.32 「リズムパターンをつくろう」

p.43 「交響曲第5番」 Active!

2・3年下

p.19 「花」「荒城の月」 Active!

p.30 「言葉のリズムや抑揚を生かして
表現してみよう」

資料



器楽

篠笛

- p.22 手作りの横笛 設計図

打楽器

- p.102 小太鼓（スネアドラム）、
大太鼓（バスドラム）、
ボンゴ、コンガ、カホン



学習者用端末の使い方／
感染症対策

教師用指導書

研究編

〈題材のデザイン〉〈指導展開例（複数パターン）〉〈教材解説〉を主軸に、ご指導と学習評価の一助になりますよう、それぞれ丁寧に解説しています。

朱書編

実際の教科書紙面上に、ご授業をされる際やそのご準備のお役に立つと思われる情報を朱書きしています。

伴奏編

教材曲のピアノ伴奏楽譜を集めたものです。〈本伴奏〉〈簡易伴奏〉などの他、教科書以外の〈参考教材〉も扱っています。

NEW! My デジタルシリーズ

教師用指導書をデジタル化した教育出版の新しいシリーズです。先生方におかれましては専用IDとパスワードでログインし、マーカーや付せん、書き込み機能といった便利なツールをご利用いただけます。インターネットに接続すればいつでも、どこでも、WEBブラウザで閲覧が可能です。全学年分を同一の本棚画面から選んでご使用いただけます。

CD

〈中学音楽〉

範唱・伴奏CD

歌唱教材の範唱及び伴奏音源を教科書全学年全曲収録しています。生徒が曲のイメージをより早く的確につかめるよう配慮して制作しました。

合唱パート別練習用CD

全ての合唱教材を各パート個別に収録しています。パートごとに効率よく練習するための音源集です。

鑑賞CD

教科書で扱う全ての鑑賞教材を網羅しています。参考音源も合わせて収録しています。

〈中学器楽〉

範奏・鑑賞CD

教科書で扱う楽器の奏法や基礎練習と重奏・合奏の範奏及び鑑賞教材を漏れなく収録しています。生徒が曲のイメージをより早く的確につかめるよう配慮して制作しました。



指導者用・学習者用デジタル教材

教科書紙面と各教材の音声や映像、そして創作活動に役立つデジタルコンテンツなどが一体となった「指導者用デジタル教材」と、生徒にとって特に有用と思われる機能を抜粋して各人の端末で使えるようにした「学習者用デジタル教材」をリニューアルしました。詳しくは次のページ (p.29) でご説明いたします。

デジタル教材・デジタル教科書のご紹介

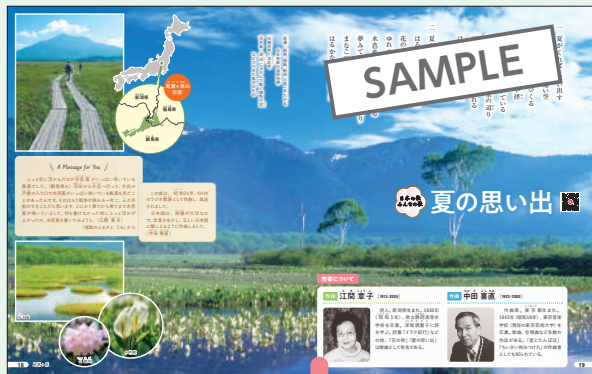


紹介ページはこちら

指導者用デジタル教材

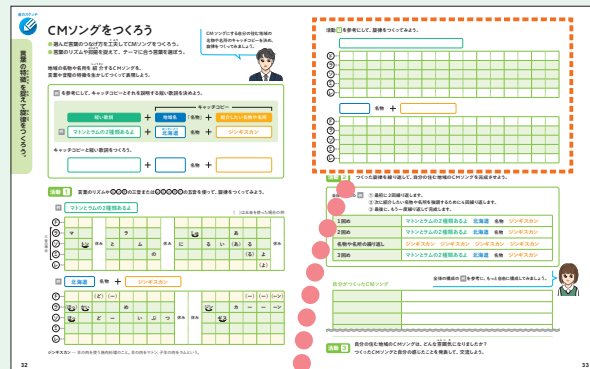
※「指導者用デジタル教材」には教科書紙面は含まれます。※教師用指導書の一部として販売いたします。

教師用指導書のCDに収録された範唱、範奏や伴奏などの音源を、楽譜や歌詞にあわせて聴くことができます。



選択した箇所から再生することが可能です。

創作活動にデジタルコンテンツを使用することで、楽しみながら自然に音を編んでいくことができます。



学習者用デジタル教材

※「学習者用デジタル教材」には教科書紙面は含まれません。※教師用指導書の一部として販売いたします。

各楽器の奏法や指揮の動画など、豊富なコンテンツでさまざまな場面の学習をサポートします。



**先生も生徒も
使えるようにしました！**

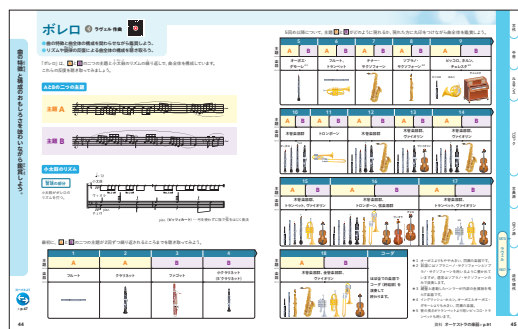
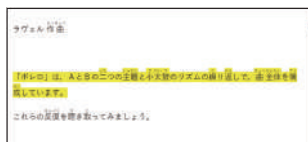
指導者用デジタル教材・学習者用デジタル教材で同一の創作コンテンツが実装されているので、先生も生徒も使用可能です。また、編集用のファイルをや取りすることで、先生・生徒どうしても共有することができます。

学習者用デジタル教科書

教科書を拡大したり、ペンやマーカーで自由に書き込んだりすることができます。「まなびリンク」にも簡単にアクセスすることができます。また、充実した学習者支援機能で一人一人の学びを支援します。

学習者支援機能例

- 音声読み上げ
- 総ルビ
- 分かち書き
- 文字サイズ変更
- 書体変更
- 行間変更
- 色変更



※デジタル教材・デジタル教科書は開発中のため、内容は変更となることがあります。

他教科横断教材

英語歌詞で歌唱できる教材を扱ったり、歴史的・地理的事象との関連を図ったりすることで、他教科の学習を併行できるよう配慮しています。

英語と関連の例

「サウンド・オブ・ミュージック」から
DO-RE-MI (ドレミの歌)

※それぞれの曲の冒頭を聴かせた後、両曲を比較しよう。
※二つの曲の曲調の違いを説明しよう。

エーデルワイス

1年 p.14-15
「DO-RE-MI」 「エーデルワイス」

社会 (地理的分野) と関連の例

楽器 p.56-57 「弾く楽器の仲間たち」

楽器 p.56-57 「弾く楽器の仲間たち」

社会 (歴史的分野) と関連の例

「歴史ナビ」

鑑賞教材の
「作曲家の生きた時代」

① 〈ヴェルディの時代〉

ヴェルディ [1813-1901]

1800 1868 1871 1900

「アイダ」初演
「五箇条の御誓文」發布

日本 江戸時代 明治時代

道徳と関連の例

旅立ちの日に

※ フレーズやリズムの変化を聴かせ、よさや美しさを伝えよう。
※ 曲の情緒や情景を想像し、よさや美しさを伝えよう。

2・3下 p.24-25 「旅立ちの日に」

29 旅立ちの日に

旅立ちの日は、人生の大きな節目です。この日から、新しい生活が始まります。この日から、新しい生活が始まります。この日から、新しい生活が始まります。

教育出版発行 中学道徳 3年 p.154-155 「旅立ちの日に」

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGsの17のゴールと169のターゲットから「4 質の高い教育をみんなに」「10 人や国の不平等をなくそう」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナリシップで目標を達成しよう」に関して、どのような取り組みができるのか、考えるきっかけになるページを設定しています。



2・3下 p.66-67

「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」



2・3下 p.2-3

「With My Heart 音楽はメッセージ」

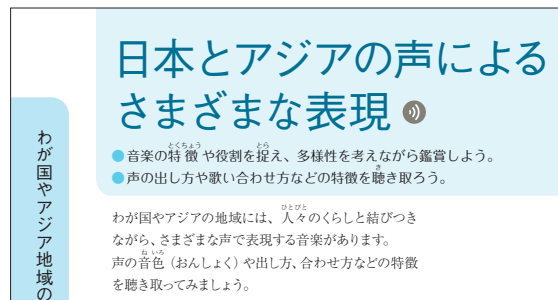


ユニバーサルデザイン

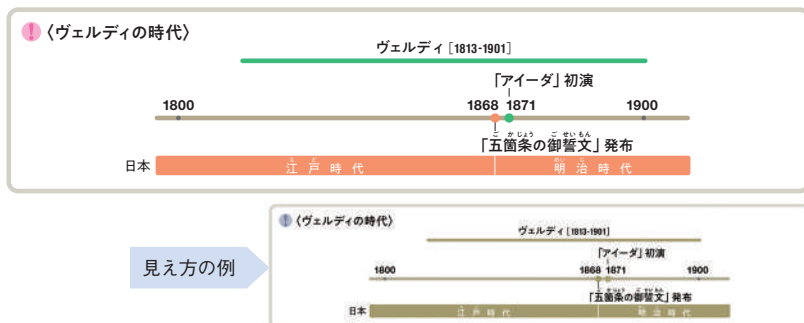


判読性・視認性の高い配色とレイアウト（カラーユニバーサルデザイン）や文字（ユニバーサルデザインフォント）の使用など、細部にわたって配慮されています。

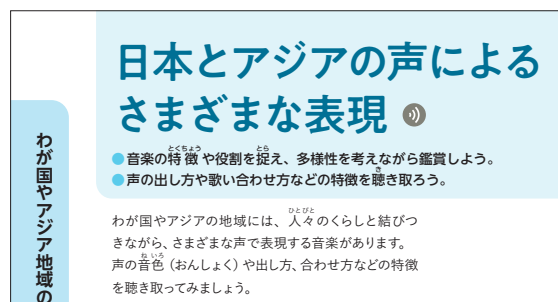
一般的なフォントを使用した場合



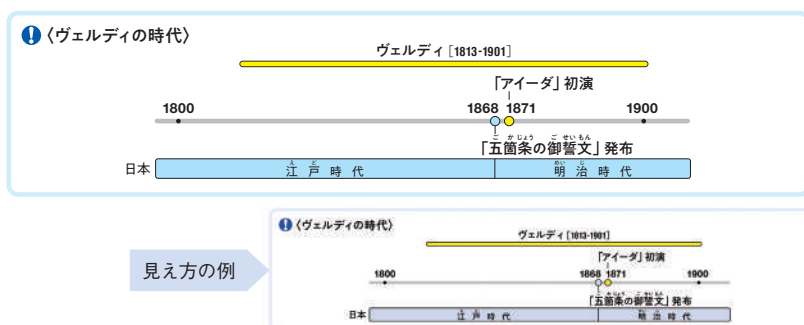
判読性・視認性の低い配色例



ユニバーサルデザインフォントを使用した本教科書



判読性・視認性の高い本教科書





教育出版

学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

著作者の紹介

音楽	監修 新実徳英	作曲家 桐朋学園大学院大学名誉教授			
	編集・執筆 相澤直人	指揮者・作曲家	小早川修	能楽師	松下 耕 作曲家
	五十嵐優子	神奈川県秦野市立西中学校教諭	新山王政和	愛知教育大学教授	森保尚美 広島女学院大学教授
	板橋 薫	宮城教育大学附属中学校教諭	中内悠介	東京学芸大学附属世田谷中学校教諭	和田 崇 東京音楽大学教授
	井上洋一	愛媛大学教授	中西紗織	北海道教育大学准教授	ほか2名
	今尾 滋	福島大学教授	野本由紀夫	玉川大学教授	教育出版株式会社
	小塩さとみ	宮城教育大学教授	平石孝太	神奈川県大和市立渋谷中学校教諭	
	木村次宏	福岡教育大学名誉教授	松浦孝憲	元徳島県徳島市立論田小学校校長	
	校閲 伊野義博	新潟大学名誉教授	特別支援教育監修 名越斉子	埼玉大学教授	人権的配慮に関する校閲 橋本龍雄 元大阪音楽大学教授
	SDGsとESDに関する校閲 手島利夫	元東京都江東区立八名川小学校校長	馬奈木俊介	九州大学主幹教授	編集協力 石井英真 京都大学大学院准教授
器楽	監修 新実徳英	作曲家 桐朋学園大学院大学名誉教授			
	編集・執筆 金子健治	リコーダー奏者	深海さとみ	元東京芸術大学准教授	和田 崇 東京音楽大学教授
	柴田靖代	東京芸術大学准教授	福原 徹	邦楽囃子笛方	教育出版株式会社
	特別支援教育監修 名越斉子	埼玉大学教授	人権的配慮に関する校閲 橋本龍雄	元大阪音楽大学教授	
	SDGsとESDに関する校閲 手島利夫	元東京都江東区立八名川小学校校長	馬奈木俊介	九州大学主幹教授	編集協力 石井英真 京都大学大学院准教授



音楽 器楽

新しい教科書の特設サイト

教育出版ウェブサイトからもアクセスできます。



まなびリンク

授業で役立つ動画や音声、資料を活用できる
無料のコンテンツはこちらから。

本社 135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館 TEL 03-5579-6278(代) FAX 03-5579-6444	関西支社 541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL 06-6261-9221 FAX 06-6261-9401
北海道支社 060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7 2F TEL 011-231-3445 FAX 011-231-3509	中国支社 730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL 082-249-6033 FAX 082-249-6040
函館営業所 040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL 0138-51-0886 FAX 0138-31-0198	四国支社 790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL 089-943-7193 FAX 089-943-7134
東北支社 980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL 022-227-0391 FAX 022-227-0395	九州支社 812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル 4F TEL 092-282-1150 FAX 092-282-1160
中部支社 460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL 052-262-0821 FAX 052-262-0825	沖縄営業所 901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL 098-859-1411 FAX 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。

教育出版株式会社

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

